

かの有名な古事記に綴られた日本平定の四道将軍神話によると北陸路の

オオヒコノミコト(大昆古命)と、その子で東海路のタケヌナカワケノミコト(武渟河別命)

が出逢ったのがこの地とされ、相津(会津)の地名の由来と伝えられている。

そしてこの地に国生みの神話の主、イザナギノミコト(伊弉諾尊)イザナミノミコト(伊弉册尊)の

夫婦神を祀り会津開拓の祖神とした。この会津高天原たかあまはらとされる会津高田周辺は神々

の中心地であったことを偲ばせる遺跡や伝説が多く現在も四季折々神事の里として

慕われている。会津盆地を縁取りながら明神ヶ岳と博士山を結ぶ尾根はその神々た

ちの会津発見の道なのかもしれない……………